

<ケネス・メイナー大佐の2020年9月6日のビデオメッセージ（要約）>

孫が野球のチームに入っているのですが、トーナメントの最中にデッドボールが肩にあたり、青アザが出来てしまいました。「痛かった？」とたずねたところ、孫はこう答えました。

「痛くて泣きたかったけど、監督の励ましの声を聞いて気を取り直し、深呼吸して一塁に進んだんだ。」 結局その試合は、孫のチームが勝ったとのこと。いま私たちはコロナ禍の中で、仕事ができない、旅行に行けない、生活が制限されるなど、多くの困難に遭っています。その中で、希望を失っている方もおられるでしょう。しかし、私の孫のように、深呼吸をして目標に向かって進むことが、私たちにも必要ではないでしょうか。ヘブライ人への手紙 12:1-3 にこのように言われています。「こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびたしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をいとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。あなたがたが、気力を失い疲れ果ててしまわないように、御自分に対する罪人たちのこのような反抗を忍耐された方のことを、よく考えなさい。」 私たちが神の臨在の中で深呼吸するとき、神様の恵みを、息を吸うように、自分の内に取り込むことができます。そして、私たちは信仰の完成者であるイエス様に向かって、まっすぐに走って行きましょう。喜ぶべきことに、その行程において、イエス様は一步一步私たちと一緒に進んでくださいます。イエス様は、私たちに生き方の模範を示してくださいました。困難なことがある時こそ、私たちの目をイエス様に留めて、すばらしい勝利の栄冠を与えられることを目指して行きましょう。いま、困難をあなたが経験しておられるならば、どうか、王であるイエス様に心を開いて、祈りをささげていただきたいと思います。